

提出 順番	No. 8	平成24年9月3日 午前・午後 0時05分
----------	----------	--------------------------

平成 24 年 9 月 3 日

幕別町議会議長 古川 稔 様

幕別町議会議員 野原恵子 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
1、安心して子どもを産み育てられる町に	<p>2011年の出生率は1.39で前年から横ばいですが、出生数は前年比2万606人減の105万698人と、過去最少になったことが厚生労働省の人口動態統計で明らかになっています。出生率が変わらないのに出生数が減少した一因に出産する女性の数が減少しているためと分析されています。</p> <p>また晩婚化が進み第一子出生時の平均年齢は上昇し、女性の身体の仕組みから高齢になると、受精しづらくなり受精しても育ちにくく不妊に悩んでいる方もいます。男性も環境ホルモンなどの影響で不妊が増えているという報告もあります。いま十勝の産院は減少し不妊治療のほとんどが札幌など管外で行わなければなりません。</p> <p>また異常の可能性の高い出産に対応する、新生児集中治療管理室(NICU)に指定されている病院は1箇所であり、医師不在などの不安をかかえています。住んでいる地域で安心して出産できる手立を講じる必要があります。</p> <p>従いまして次の点について伺います。</p> <p>① 不妊対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 不妊治療費助成者数の推移は ・ 不妊治療は保険適用にするよう国に求めていくこと

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
<p>2、町民の交通手段の拡充を</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもを産むための健康な体づくりを学校教育で行うこと <p>② 安心して出産できる体制の確立を</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 救急隊員の出産支援として妊婦登録制度の導入を ・ 管内の自治体と協力して周産期医療体制の支援対策などを <p>町民から要望の強かったコミバスの試験運行が7月に行われました。1ヶ月の短期間のためコミバスの運行が周知され始めたなかで終わっていますが、障害のある方や自動車の運転を止めた方などは本格運行を心待ちしています。試験運行は幕別・札内の市街地でしたが、忠類や農村地域からも交通弱者の手立てをとという要望が出されています。</p> <p>① コミバスの11月試験運行に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 7月の試験運行に対する町民意見の反映を ・ 停留所に椅子の設置を ・ 高校生が通学に利用する時は50円になど更なる改善を <p>② 忠類・農村地域の対策として</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ タクシー代の助成を ・ デマンドタイプのバス運行などを <p style="text-align: right;">以上</p>